

## 製品の特長

### 性能

- 7050QX-32: 40GbE ポート 32 個
- 7050QX-32S: 40GbE ポート 32 個と 10GbE ポート 4 個
- 最大 2.56Tbps
- 最大 1.44Bpps (十億パケット/秒)
- ワイヤスピードによる L2 および L3 転送
- 最小遅延は 550ns

### データセンター向けに最適化された設計

- 40GbE ポートあたり 5W の通常消費電力で TCO を削減
- 92%以上の高効率電源
- 1+1 のホット・スワップ可能な冗長電源
- N+1 のホット・スワップ可能な冗長ファン
- 前面吸気/背面排気または背面吸気/前面排気の冷却機能
- ツールレス・レールでインストールが容易

### クラウド・ネットワーキング対応

- VXLAN と VM Tracer
- OpenFlow、DirectFlow、eAPI
- 288,000 MAC エントリ
- 16,000 個の IPv4 ルート
- 208,000 IPv4 ホスト・ルート
- 12MB の動的バッファ割り当て

### 対障害性を備えたコントロール・プレーン

- 高性能な x86 CPU
- 4GB の DRAM
- 最大 4GB のフラッシュ
- 仮想マシン内でユーザー・アプリケーションを実行可能

### 内蔵ソリッド・ステート・ストレージ

- ソリッド・ステート・ドライブ(SSD)を搭載可能
- ログおよびキャプチャ・データを保存
- Linux のツールが制約なく利用可能

### 高度なプロビジョニングとモニタリング

- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- LANZ によるマイクロバースト検出
- DANZ の高度なミラーリングとタップ・アグリゲーションによる可視性の向上
- sFlow
- USB からの起動と復旧が可能

### Arista Extensible Operating System

- 単一のバイナリ・イメージで全製品に対応
- きめの細かい完全なモジュール型のネットワーク OS
- ステートフル・フォールト・コンテインメント (SFC)
- ステートフル・フォールト・リペア (SFR)
- Linux シェルやツールへのフル・アクセス
- bash、python、C++で拡張可能なプラットフォーム

## 概要

Arista 7050QX-32 と 7050QX-32S は、Arista 7050X シリーズのデータセンター向けスイッチです。Arista 7050X シリーズは、コンパクトな筐体で電力効率に優れた 10/40GbE スイッチです。ワイヤスピードのレイヤ 2/3 のパケット転送に加えて、Software Defined Cloud Networking 向けの高度な機能を備えています。

より大きな帯域幅を必要とするアプリケーションを実行するために、10 ギガビット・イーサネット・サーバの採用が進んでいます。これに伴って、高密度な 10 ギガおよび 40 ギガビット・イーサネット・スイッチの必要性がますます高まっています。7050QX-32 と 7050QX-32S は、非常にコンパクトな筐体に 10G と 40G を柔軟な組み合わせで収容します。これによって、リーフとスパインからなる大規模なネットワークを設計することができ、現代のデータセンター、ハイパフォーマンス・コンピューティング、ビッグデータ環境で見られる水平型 (East-West) トラフィック・パターンに対応できます。

1RU の筐体に QSFP+ポート 32 個を備えたスイッチで、レイヤ 2 とレイヤ 3 の豊富な機能とワイヤスピードのパフォーマンスを誇ります。合計スループットは 2.56Tbps です。両機種とも、最大 32 個の 40GbE ポートまたは 24 個の QSFP+ポートを 4 個の 10GbE として使用して、96x10GbE および 8x40GbE のシステムにするという柔軟な構成が可能です。さらに、7050QX-32S は、最初の QSFP+ポートと内部的に共有されている 4 個の SFP+ポートがあり、10GbE と 1GbE のインタフェースを直接接続できます。どちらの Arista 7050QX スイッチも、カットスルー・モードにおいて 550 ナノ秒の低レイテンシーを実現しています。また、12MB の共有パケット・バッファ・プールがあり、輻輳しているポートに動的に割り当てます。40GbE の 1 ポートあたりの通常消費電力は 5 ワット未満と、7050QX シリーズは業界最高水準の電力効率を達成しています。オプションで SSD を内蔵することにより、高度なロギングやデータ・キャプチャなどのサービスをスイッチ上で直接実現することができます。

7050QX シリーズは、Arista EOS との組み合わせによって、ビッグデータ、クラウド、仮想化、従来型ネットワーク向けの高度な機能を提供します。



Arista 7050QX-32 : 40GbE QSFP+ポート 32 個

Arista 7050QX-32S : 40GbE QSFP+ポート 32 個、SFP+ポート 4 個

## Arista EOS

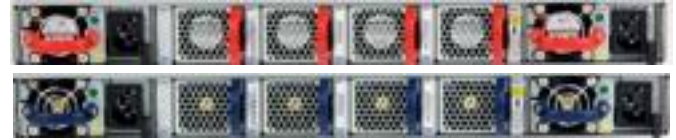
Arista 7050X では、Arista の全製品に共通の Arista EOS ソフトウェアが稼働しており、ネットワーク管理をよりシンプルにします。Arista EOS は、モジュール型のネットワーク OS で、スイッチの状態管理をプロトコル処理およびアプリケーション・ロジックから完全に分離する、独自の状態共有アーキテクチャを採用しています。標準の Linux カーネルを基盤として構築されており、すべての EOS プロセスは独自の保護メモリ空間内で実行され、インメモリ・データベースを介して状態を交換します。このマルチプロセス状態共有アーキテクチャは、インサービス・ソフトウェア・アップグレード (ISSU) および自己回復型の耐障害性のための基盤となります。

また、Arista EOS の搭載により、ゼロ・タッチ・プロビジョニング、VMTracer、Linux ベースの各種ツールといった高度なモニタリングや自動化の機能を、強力な x86 CPU サブシステムによってスイッチ上でネイティブに実行できます。

### 高可用性

Arista 7050X シリーズのスイッチは、ソフトウェアおよびハードウェアの両面において、高い可用性を発揮するように設計されています。高可用性に向けた主な機能は以下のとおりです。

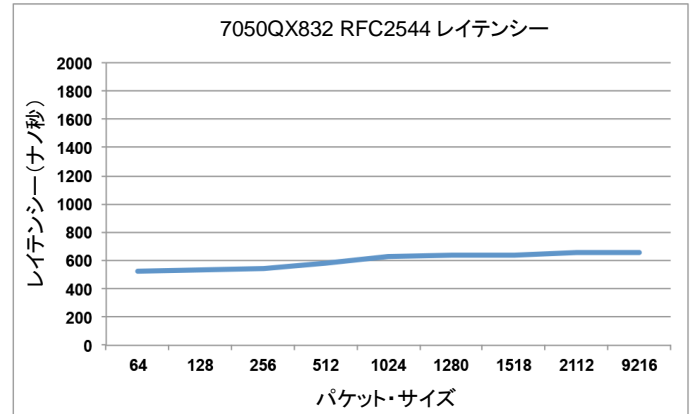
- 1+1 冗長のホット・スワップ可能な電源と N+1 冗長のホット・スワップ可能な 4 個のファン
- カラーコード付きの PSU とファン
- ライブ・ソフトウェア・パッチ
- ステートフル・フォールト・リペア (SFR) による自己回復ソフトウェア
- Smart System Upgrade (SSU)、Accelerated Software Update (ASU)
- 10GbE、40GbE を最大 64 ポートサポートするリンク・アグリゲーション・グループ (LAG)
- マルチシャーシ LAG によるアクティブ/アクティブ L2 マルチパス
- 64way の ECMP ルーティングによる負荷分散と冗長性



Arista 7050QX 1RU の背面:  
前面吸気/背面排気、背面吸気/前面排気

### 動的バッファ割り当て

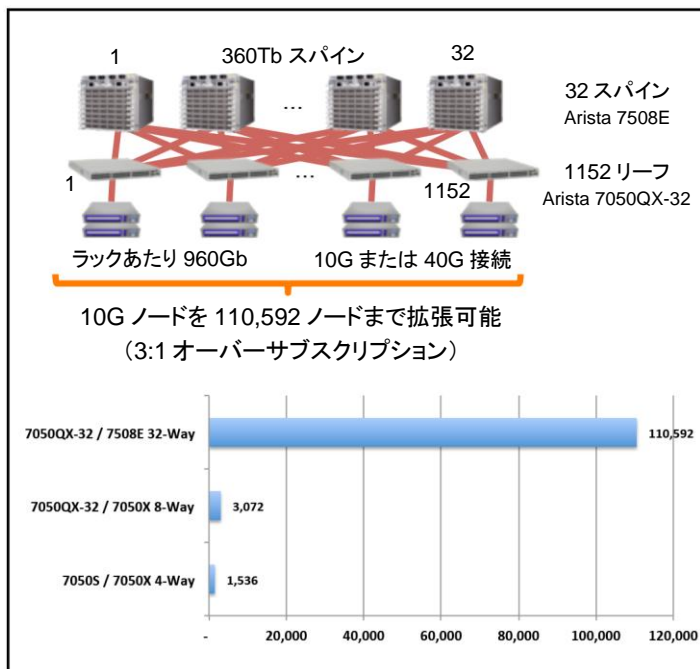
Arista 7050QX シリーズのスイッチは、カットスルー・モードにおいて、550~650 ナノ秒のレイテンシーでパケットを転送します。輻輳時には、合計サイズ 12MB の共有パケット・メモリにパケットがバッファリングされます。ポートごとに固定のパケット・メモリを持つ他のアーキテクチャとは異なり、動的バッファ割り当て (DBA) によって、最大 6.7MB のパケット・メモリを単一のポートに割り当て、パケットロスのない転送を実現します。



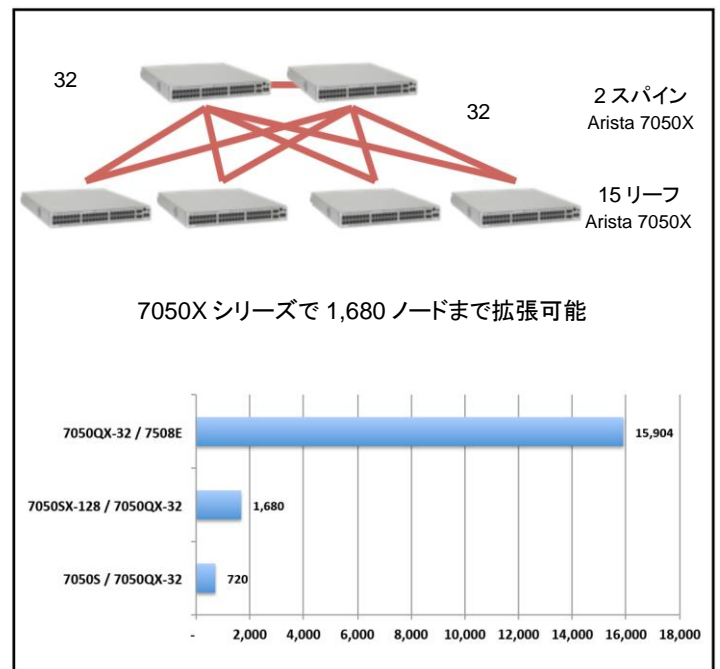
Arista 7010TArista 7050QX: QSFP+ポートを介したレイテンシー

### データセンターの性能をスケール

Arista 7050QX シリーズは、レイヤ 2 およびレイヤ 3 におけるラインレート・スイッチングを実現することで、データセンターのネットワーク設計を高速化および簡素化し、ネットワークの導入コストと運用コストを大幅に削減します。Arista 7000 シリーズのボックス型スイッチやモジュール型スイッチと併用することにより、予測可能で一貫したアプリケーション・パフォーマンスを提供する低遅延の 2 階層ネットワークにおいて、11 万台を超える 10G サーバを収容する規模までネットワークを拡張することができます。L2 および L3 のマルチパス設計に柔軟な選択肢を提供し、オープン規格のサポートにより、最大限の柔軟性、スケーラビリティ、ネットワーク全体にわたる仮想化を実現します。また、Arista EOS の高度な機能によって、一元化された管理による制御と可視化を可能にします。



L3 ECMP を使用したアリスタのリーフ/スパイン設計



L2 MLAG を使用したアリスタのリーフ/スパイン設計

7050QX シリーズを使用したアリスタのリーフ/スパイン 2 階層ネットワーク・アーキテクチャ

## スケール・アウトするネットワーク設計に向けた最大限の柔軟性

スケール・アウトを考慮したネットワークを設計することで、まずは小規模なソリューションを構築し、時間とともにそれを拡張させていくことが可能になります。シンプルな 2way 設計を、アーキテクチャに大きな変更を加えることなく最大 64way にまで拡張することができます。Arista 7050QX では、柔軟なスケール・アウト設計を可能にする次のような機能強化が行われています。

- 64way の ECMP と 64way の MLAG により、スケーラブルな設計と、大規模 2 階層リーフ/スパインでのトラフィックの均等な分散を実現
- カスタム・ハッシュ・アルゴリズムにより、トンネル・プロトコルに対する効率的なハッシュ、一貫性のあるハッシュ、カスタム・ルックアップを実現
- L2 および L3 の転送テーブル・リソースの柔軟な割り当てにより、設計の選択肢を拡大
- 高密度の 10G/40G ポートの多彩な選択肢があり、各ポートでマルチスピードの柔軟性を実現
- VXLAN と仮想化機能により、次世代データセンター設計が可能
- DANZ、sFlow、マルチポート・ミラーリングにより、マイクロバースト輻輳を検出し、ネットワーク全体にわたる可視化と監視を提供

## Software Defined Networking

Arista Software Defined Cloud Networking (SDCN) は、クラウド・コンピューティングの普及の原動力でもある、自動化、セルフサービス・プロビジョニング、パフォーマンスとコストのリニアなスケールリングを実現しつつ、ネットワーク仮想化、カスタムなプログラム性、シンプルなアーキテクチャ、低い導入コストを実現するといった Software Defined Networking のトレンドを兼ね備えています。これにより、企業とサービス・プロバイダーの両方のデータセンターに対し、ネットワークの価値を最大限に高める業界最高水準のソフトウェア基盤を構築します。IT インフラ内の最もミッション・クリティカルな場所を対象とする新しいアーキテクチャは、制御と可視化の機能をネットワークおよびシステム管理者に提供しつつ、管理とプロビジョニングを簡素化し、サービス・デリバリーを迅速化し、コストを削減して、サービスの競争力を高める機会を創出します。

## Smart System Upgrade

Smart System Upgrade は、データセンター管理者が直面している最も複雑で困難なタスクの 1 つである、ネットワーク・インフラストラクチャのメンテナンスに対応するために設計されたネットワーク・アプリケーションです。基盤となるネットワーク・インフラに対する変更は多数のデバイスに影響し、大規模な中断を引き起こす場合があります。SSU は、完全にカスタマイズ可能な機能を持ち、データセンター・インフラをテクノロジー・パートナーの技術と密接に連携することができます。ネットワークからのインテリジェントな切り離しと再接続、ソフトウェア・リリースのプログラマティックなアップグレード、アプリケーションおよびインフラ・コンポーネントとのオープンな統合が特徴です。

## Arista のイベント管理 (AEM)

AEM は、一般的な運用の簡素化を目的として、アラートやアクションをカスタマイズするためのツールです。AEM は、タスクを自動化し、EOS の動作とデータセンター・スイッチング・インフラ全体の運用をカスタマイズするための強力かつ柔軟性の高い機能群です。AEM によってオペレーターは、EOS に搭載されるインテリジェンスを最大限に活用して、リアルタイムにイベントに対応し、定型タスクを自動化し、変化するネットワーク条件に基づいてアクションを自動化することができます。

## 高性能ネットワーク向けの高度な機能

Arista 7050QX は、高度なトラフィック制御および監視機能を備え、データ監視、次世代仮想化に向けたソリューションによって、先進的なハイパフォーマンス環境の機動性を高めます。

## 高精度なデータ解析

Arista のレイテンシー・アナライザ (LANZ) は、EOS に実装された機能です。LANZ は、アプリケーションに影響が生じる前にマイクロバーストや輻輳状態に対する高精度なリアルタイム監視を行います。発生源を特定し、影響を受けたトラフィックをキャプチャして解析することもできます。

## 仮想化

次世代の仮想データセンターでは、VXLAN などの新しいカプセル化技術やオーケストレーション・ツールとの密接な連携が必要です。7050QX は、Arista が VM Tracer として既に提供している利用価値の高いツールを基盤として、カプセル化環境へ直接統合することが可能になっています。VXLAN と従来の L2/3 ネットワークとの間にワイヤスピードのゲートウェイを提供することによって、7050X は、サーバ、ファイアウォール、負荷分散装置などの VXLAN 非対応のデバイスのシームレスな統合を可能とし、MPLS などの技術を用いずに、標準規格に基づく L2 拡張技術としての VXLAN を活用できるようにします。

## 統合フォワーディング・テーブル

スイッチのフォワーディング・テーブルの大きさは、クラウド・ネットワークのスケラビリティを直接左右します。多くのシステムでは、一般的な種類の転送のエントリそれぞれについて、決まったサイズの別々のテーブルを使用しています。枠にはまった手法と言えます。Arista 7050X は、L2 MAC、L3 ルーティング、L3 ホスト、IP マルチキャストの転送のエントリが共用する統合フォワーディング・テーブルを採用しており、エントリの種類ごとにパーティション分割が可能です。各パーティションの理想的なサイズは、ネットワーク展開の状況ごとに異なります。7050X には、事前に定義されたさまざまな構成プロファイルもあります。統合フォワーディング・テーブルの柔軟性を生かすことにより、どのようなネットワーク・トポロジやネットワーク仮想化技術でも、最適なリソース割り当てを実現できます。

## レイヤ 2 機能

- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- Rapid Per VLAN Spanning Tree (RPVST+)
- 4096 VLAN
- Q-in-Q
- 802.3ad リンク・アグリゲーション/LACP
  - 64 ポート/チャンネル
  - 64 グループ/システム
- マルチシャーシ・リンク・アグリゲーション (MLAG)
  - MLAG ごとに 64 ポート
- カスタム LAG ハッシュ
- 耐障害性を備えた LAG ハッシュ
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3x フロー制御
- ジャンボ・フレーム (9216 バイト)
- IGMP v1/v2/v3 スヌーピング
- ストーム制御
- プライベート VLAN
- RAIL

## レイヤ 3 機能

- ルーティング・プロトコル: OSPF、OSPFv3、BGP、MP-BGP、IS-IS、RIPv2
- 64way のイコール・コスト・マルチパス・ルーティング (ECMP)
- 耐障害性を備えた ECMP ルート
- VRF
- BFD
- ルート・マップ
- IGMP v2/v3
- PIM-SM/PIM-SSM
- Anycast RP (RFC 4610)
- VRRP
- 仮想 ARP (VARP)
- ポリシー・ベース・ルーティング (DirectFlow)
- ネットワーク・アドレス変換 (NAT)\*
  - スタティック NAT
  - ダイナミック NAT
- uRPF

## 高度なモニタリングとプロビジョニング

- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- レイテンシー・アナライザ (LANZ) によるマイクロバースト検出\*
  - 構成可能な輻輳通知 (CLI, Syslog)
  - イベントのストリーミング (GPB エンコード)
  - 輻輳トラフィックのキャプチャ/ミラーリング
- 高度なモニタリングとアグリゲーション
  - ポート・ミラーリング (4 つのアクティブ・セッション)
  - ミラー・セッションに対する L2/3/4 フィルタリング\*
  - EOS/SSD へのミラーリング\*
- アドバンスド・イベント・マネージャ (AEM)
  - CLI スケジューラ
  - イベント・マネージャ
  - イベント・モニター
  - Linux ツール
- オプションの SSD によるロギングおよびデータ・キャプチャ
- TCPDump による統合パケット・キャプチャ/解析

- RFC 3176 sFlow
- USB からの復元と構成
- Blue Beacon LED によるシステム認識
- Software Defined Networking (SDN)
  - Openflow 1.0
  - Openflow 1.3\*
  - Arista DirectFlow
  - eAPI
  - OpenStack Neutron のサポート
- IEEE 1588 PTP (トランスペアレント・クロックとバウンダリ・クロック)\*

## 仮想化サポート

- VXLAN ゲートウェイ (draft-mahalingam-dutt-dcops-vxlan-01)
- VXLAN トンネル・エンドポイント
- VXLAN ルーティング\*
- VXLAN ブリッジング
- VM Tracer による VMware との連携
  - VMware vSphere のサポート
  - 仮想マシンの自動検出
  - 仮想マシンのアダプティブ・セグメンテーション
  - 仮想マシンのホスト・ビュー

## セキュリティ機能

- L2、L3、L4 フィールドを使用する IPv4/IPv6 のインGRESS/イグレス ACL
- MAC ACL
- ACL ドロップ・ロギング
- ACL カウンタ
- コントロール・プレーン保護 (CPP)
- DHCP リレー/スヌーピング
- MAC セキュリティ
- TACACS+
- RADIUS

## QoS 機能

- ポートごとに最大 8 個のキュー
- 802.1p ベースの分類
- DSCP ベースの分類およびリマーケティング
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- QoS インターフェース・トラスト (COS/DSCP)
- 厳密な優先キューイング
- WRR (Weighted Round Robin) によるスケジューリング
- 優先度ベース・フロー制御 (PFC)
- データセンター・ブリッジング機能交換 (DCBX)
- 802.1Qaz Enhanced Transmissions Selection (ETS)\*
- ACL ベースの DSCP マーキング\*
- ACL ベースのポリシング\*
- ポリシング/シェーピング
- レート制限
- オーディオ・ビデオ・ブリッジング (AVB)\*

\* 現在の EOS ではサポート対象外

## ネットワーク管理

- CloudVision: タスク指向のマルチデバイス対応 CLI
- 10/100/1000M 管理ポート
- RS-232 シリアル・コンソール・ポート
- USB ポート
- SNMP v1、v2、v3
- IPv6 経由の管理
- Telnet および SSHv2
- Syslog
- AAA
- 業界標準の CLI

## 拡張性

- Linux ツール
  - Bash シェル・アクセスとスクリプティング
  - RPM サポート
  - カスタム・カーネル・モジュール
- システム状態へのプログラムによるアクセス
  - Python
  - C++
- KVM/QEMU のネイティブ・サポート

## 準拠規格

- 802.1D Bridging and Spanning Tree
- 802.1p QOS/COS
- 802.1Q VLAN タギング
- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3ad LACP によるリンク・アグリゲーション
- 802.3ab 1000BASE-T
- 802.3z ギガビット・イーサネット
- 802.3ae 10 ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 40 ギガビット・イーサネット
- RFC 2460 Internet Protocol, Version 6 (IPv6) Specification
- RFC 4861 Neighbor Discovery for IP Version 6 (IPv6)
- RFC 4862 IPv6 Stateless Address Autoconfiguration
- RFC 4443 Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification

## SNMP MIB

- RFC 3635 EtherLike-MIB
- RFC 3418 SNMPv2-MIB
- RFC 2863 IF-MIB
- RFC 2864 IF-INVERTED-STACK-MIB
- RFC 2096 IP-FORWARD-MIB
- RFC 4363 Q-BRIDGE-MIB
- RFC 4188 BRIDGE-MIB
- RFC 2013 UDP-MIB
- RFC 2012 TCP-MIB
- RFC 2011 IP-MIB
- RFC 2790 HOST-RESOURCES-MIB
- RFC 3636 MAU-MIB
- RMON-MIB
- RMON2-MIB
- HC-RMON-MIB
- LLDP-MIB
- LLDP-EXT-DOT1-MIB
- LLDP-EXT-DOT3-MIB

- ENTITY-MIB
- ENTITY-SENSOR-MIB
- ENTITY-STATE-MIB
- ARISTA-ACL-MIB
- ARISTA-QUEUE-MIB
- RFC 4273 BGP4-MIB
- RFC 4750 OSPF-MIB
- ARISTA-CONFIG-MAN-MIB
- ARISTA-REDUNDANCY-MIB
- RFC 2787 VRRPv2-MIB
- MSDP-MIB
- PIM-MIB
- IGMP-MIB
- IPMROUTE-STD-MIB
- SNMP Authentication Failure trap
- ENTITY-SENSOR-MIB support for DOM (Digital Optical Monitoring)
- ユーザー構成可能なカスタム OID

MIB の最新のサポート状況については EOS のリリース・ノートを参照

## テーブル・サイズ

STP インスタンス	64(MST)/510(RPVST+)	
IGMP グループ	288,000 (ユニークなグループは 8,000)	
ACL	4,000	
イグレス ACL	1,000	
ECMP	64way、1,000 グループ	
	ベースモード	UFT モード
MAC アドレス	32,000	288,000
IPv4 ホスト	16,000	208,000
IPv4 ルート - ユニキャスト	16,000	144,000 *
IPv4 ルート - マルチキャスト	16,000	104,000 *
IPv6 ホスト	16,000	104,000
IPv6 ルート - ユニキャスト	8,000	77,000 *
IPv6 ルート - マルチキャスト	4,000	変更なし

最大値は共有リソースに依存する場合あり

\* 現在の EOS ではサポート対象外

## サポートする光接続およびケーブル

インターフェイスの種類	QSFP+ポート
10GBASE-CR	0.5m~5m QSFP+ to 4x SFP+
40GBASE-CR4	0.5m~5m QSFP+ to QSFP+
40GBASE-AOC	3m~100m
40GBASE-UNIV	150m (OM3)/150m (OM4) /500m (SM)
40GBASE-SR4	100m (OM3)/150m (OM4)
40GBASE-XSR4	300m (OM3)/450m (OM4)
40GBASE-PLRL4	1km (1km 4x10G LR/LRL)
40GBASE-LRL4	1km
40GBASE-PLR4	10km (10km 4x10G LR/LRL)
40GBASE-LR4	10km
インターフェイスの種類	SFP+ポート
10GBASE-CR	SFP+ to SFP+: 0.5m~5m
10GBASE-AOC	SFP+ to SFP+: 3m~30m
10GBASE-SRL	100m
10GBASE-SR	300m
10GBASE-LRL	1km
10GBASE-LR	10km
10GBASE-ER	40km
10GBASE-ZR	80km
10GBASE-DWDM	80km
100Mb Tx, 1GbE SX/LX/ZX	あり

## 準拠規格

EMC	放射: FCC、EN55022、EN61000-3-2、 EN61000-3-3 または EN61000-3-11、 EN61000-3-12(該当する場合) イミュニティ: EN55024 放射とイミュニティ: EN300 386
安全性	UL/CSA 60950-1、EN 60950-1、IEC 60950-1 CB Scheme および各国の個別要求事項
認証	北米 (NRTL) 欧州連合 (EU) BSMI (台湾) C-Tick (オーストラリア) CCC (中国) MSIP (韓国) EAC (関税同盟) VCCI (日本)
欧州連合指令	2006/95/EC Low Voltage Directive 2004/108/EC EMC Directive 2011/65/EU RoHS Directive 2012/19/EU WEEE Directive

## 仕様

	7050QX-32	7050QX-32S
ポート数	QSFP+ 32 個	QSFP+ 32 個、 SFP+ 4 個
最大 40GbE ポート数	QSFP+ 32 個	QSFP+ 32 個
最大 10GbE ポート数	96	96
最大 1GbE ポート数	-	4
スループット	2.56Tbps	
パケット処理性能	1440Mpps	
レイテンシー	550 ナノ秒	
CPU	デュアルコア x86	クアッドコア x86
システム・メモリ	4GB	
フラッシュ・ストレージ・メモリ	2GB	4GB
パケット・バッファ・メモリ	12MB (動的バッファ割り当て)	
SSD ストレージ (オプション)	100GB	120GB
10/100/1000 管理ポート	1	
RS-232 シリアル・ポート	1 (RJ-45)	
USB ポート	1	
ホット・スワップ電源	2 (1+1 冗長)	
ホット・スワップ可能なファン	4 (N+1 冗長)	
反転可能なエアフロー	あり	
通常/最大消費電力*	162 / 332W	150 / 302W
サイズ (幅 x 高さ x 奥行)	19x1.75x16” (48.3x4.4x40.64cm)	
重量	20 ポンド (9.1kg)	20 ポンド (9.1kg)

\* 通常消費電力は周囲温度 25C の環境で負荷 50%の状態での測定

性能は、平均パケット・サイズが 200 バイト以上の場合の動作に対して測定。

## 環境的特性

動作温度	0~40°C (32~104°F)
保管温度	-40~70°C (-40~158°F)
相対湿度	5~95%
動作高度	0~10,000 フィート (0~約 3km)

## 電源仕様

スイッチのモデル	7050QX-32		7050QX-32S	
電源モデル	PWR-460-AC	PWR-460-DC	PWR-500-AC	PWR-500DC
入力電圧	100-240V AC	40-72V DC	100-240V AC	40-72V DC
通常入力電流	5.3 - 2.2A	12.8 - 7.1A -48V で 11.3A	6.3 - 2.2A	13.1 - 7.3A -48V で 11A
入力周波数	50/60Hz	DC	50/60Hz	DC
入カコネクタ	IEC 320-C13	AWG #16-12	IEC 320-C13	AWG #16-12
効率(通常)	92%	-	93%プラチナ	-

## 発注情報

製品番号	製品説明
DCS-7050QX-32-F	Arista 7050、32 個の QSFP+ポート搭載スイッチ、前面吸気/背面排気のエアフロー、460W AC 電源 2 個
DCS-7050QX-32-R	Arista 7050、32 個の QSFP+ポート搭載スイッチ、背面吸気/前面排気のエアフロー、460W AC 電源 2 個
DCS-7050QX-32#	Arista 7050、32 個の QSFP+ポート搭載スイッチ、ファンなし、PSU なし(ファンと電源が別途必要)
DCS-7050QX-32-D#	Arista 7050、32 個の QSFP+ポート搭載スイッチ、100GB SSD 搭載、ファンなし、PSU なし(ファンと電源が別途必要)
CS-7050QX-32S-F	Arista 7050X、32 個の QSFP+ポートと 4 個の SFP+ポート搭載スイッチ、前面吸気/背面排気のエアフロー、500W AC 電源 2 個
DCS-7050QX-32S-R	Arista 7050X、32 個の QSFP+ポートと 4 個の SFP+ポート搭載スイッチ、背面吸気/前面排気のエアフロー、500W AC 電源 2 個
DCS-7050QX-32S#	Arista 7050X、32 個の QSFP+ポートと 4 個の SFP+ポート搭載スイッチ、ファンなし、PSU なし(ファンと電源が別途必要)
DCS-7050QX-32S-D#	Arista 7050X、32 個の QSFP+ポートと 4 個の SFP+ポート搭載スイッチ、SSD 搭載、ファンなし、PSU なし(ファンと電源が別途必要)
LIC-FIX-2-E	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用の拡張 L3 ライセンス(BGP、OSPF、ISIS、PIM、NAT)
LIC-FIX-2-V	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用の仮想化ライセンス(VM Tracer と VXLAN)
LIC-FIX-2-Z	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用のモニタリング/プロビジョニング・ライセンス(ZTP、LANZ、TapAgg、OpenFlow)

## スペア・オプション

FAN-7000-F	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール(前面吸気/背面排気エアフロー)
FAN-7000-R	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール(背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-460AC-F	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用の 460W スペア AC 電源(前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-460AC-R	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用の 460W スペア AC 電源(背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-460DC-F	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用の 460W スペア DC 電源(前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-460DC-R	Arista 7150、7124SX(FX)、7050、および 7048-A スイッチ用の 460W スペア DC 電源(背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-500AC-F	Arista 7050QX-32S スイッチ用の 500W スペア AC 電源(前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-500AC-R	Arista 7050QX-32S スイッチ用 500W スペア AC 電源(背面吸気/前面排気エアフロー)

1 現在はサポート対象外

**発注情報****スペア・オプション**

<b>KIT-7000</b>	Arista 7150、7048-A、7050、7050QX-32、7124SX(FX) 1RU スイッチ用スペア・アクセサリ・キット
<b>KIT-7002</b>	ツールレス・レールの Arista 1RU および 2RU スイッチ用スペア・アクセサリ・キット(7050QX-32S、7050SX/TX、7280、7250X)
<b>KIT-2POST-1U-NT</b>	1RU ツールレス・システム用スペア 1RU 2 ポスト・レール・キット(7050QX-32S、7050SX/TX、7280)
<b>KIT-4POST-NT</b>	4 ポスト

**保証**

Arista 7050 スイッチは、1 年間の制限付きハードウェア保証の対象で、製品を受領してから 10 営業日以内の部品提供、修理、または交換を保証します。

**サービスおよびサポート**

翌営業日および 4 時間以内の高度なハードウェア交換を含むサポート・サービスが提供されています。サービス拠点については、以下を参照してください。

<http://www.arista.com/en/service>

**アリスタネットワークスジャパン合同会社**

〒170-6045 東京都豊島区東池袋 3-3-1 サンシャイン 60 45F

Tel:03-5979-2012 Fax:03-5979-2013

お問い合わせ先

[Japan-sales@arista.com](mailto:Japan-sales@arista.com)

Copyright © 2014 Arista Networks, Inc. 本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。Arista、Arista のロゴ、および EOS は Arista Networks の登録商標です。その他の製品またはサービス名は、他社の商標またはサービス商標である可能性があります。

[www.arista.com/jp](http://www.arista.com/jp)

**ARISTA**

2014 年 9 月